

No.	014	—	2002	事務事業名	青年就農給付金事業			細事務事業名				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	-----------	--	--	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課 名	農林振興課		係 名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp			
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	補助等		実施計画	非該当	事業期間	24 年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(3)担い手の育成・確保		
事業の対象	独立・自営就農時の年齢が、原則4 5歳未満であり、農業経営者となることについての強い意志を有している者						根拠法令	新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱、東温市青年就農給付金交付要綱					
事業の目的	最終的	持続可能な力強い農業の実現に向け新規就農するにあたり、就農前後の青年新規就農者に対し給付金を給付します。					今年度	新規就農する青年等に対し、農業を始めてから経営が安定するまで、最長5年間、最大年額150万円を給付します。					
活動内容	①	給付対象者への面接、協議、話し合い等を行います。					④	給付期間中及び給付終了後3年間、計画的な営農ができているか状況の確認を行います。					
	②	青年等就農計画の内容について審査等を行います。					⑤						
	③	給付対象者に給付金を給付します。											
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標	
				業務の性質上、指標設定になじみません。				目標					
								実績					
								目標					
								実績					
								目標					

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備 考				
	国・県支出金	10,500 千円		3,750 千円		9,750 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	計(A)	10,500 千円		3,750 千円		9,750 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.496 人	2,982 千円	0.447 人	2,692 千円	0.129 人	769 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.015 人	29 千円	0.015 人	29 千円					
全体事業費(A+B)		13,482 千円		6,471 千円		10,548 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総 合 評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）												
必要性	農業従事者が高齢化する中、青年層の就農者を増やし、育成する必要があります。特に新規就農者は、経営的環境が脆弱あるので、当事業により、特に支援する必要があります。												
有効性	各地域での農業の担い手として期待される青年就農者への給付金の交付は、農業用機械の購入等、営農環境の整備に有効に活用されています。												
達成度	給付を終えた後も、就農者は地域農業の担い手として定着しています。												
効率性	国の制度に基づいて実施しており、本市独自の判断により、事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	新規の就農者は、経験・知識が未熟であったり、施設整備が不十分であるなど、給付期間終了後の経営の安定化に課題があります。												
改 革 画 計	県、農協、集落等、関係機関と連携し、適切な営農指導や施設整備の支援を行います。												
二次評価者	農林振興課長	総 合 評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		1. 農業従事者の高齢化や後継者の不足、耕作放棄地の増加など、地域農業の抱える問題が顕在化する中、地域農業の中心となる若い農業後継者の確保・育成に努めて下さい。											

No.	014	—	2004	事務事業名	中山間地域等直接支払事業				細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	--------------	--	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	27年度～31年度				
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(2) 農業生産基盤の充実			
事業の対象	一定の基準を満たす中山間地域の農地を対象とし、集落協定に基づき5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等						根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律						
事業の目的	最終的	担い手の育成等による農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保することを目的とします。					今年度	制度を活用した耕作放棄地の発生防止、地域・集落の活性化、将来に向けた農業生産活動等の継続的な実施が図られるように、集落に対し支援を行います。						
活動内容	①	集落協定に基づく耕作放棄地の発生防止活動支援					④	集落協定に基づく体制整備に向けた積極的取組の支援						
	②	集落協定に基づく水路・農道等の維持管理活動支援					⑤							
	③	集落協定に基づく多面的機能増進活動支援												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
				業務の性質上、指標設定になじみません。				目標						
								実績						
								目標						
								実績						
								目標						

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費		
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
	国・県支出金	69,446 千円		66,412 千円		67,173 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	42 千円		0 千円		0 千円							
	一般財源	23,236 千円		22,360 千円		22,742 千円							
	計(A)	92,724 千円		88,772 千円		89,915 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.833 人	5,009 千円	0.682 人	4,107 千円	0.682 人	4,067 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.055 人	106 千円	0.055 人	106 千円						
全体事業費(A+B)		97,733 千円		92,985 千円		94,088 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	中山間地域は平地に比べ、農業の生産条件が不利な地域であり、農用地を維持・管理していくためには本制度が必要です。												
有効性	本制度を活用し、各集落において活性化を図る多様な活動が行われており、また、集落内で協力することで耕作放棄地の発生が防止されています。												
達成度	本制度を活用した耕作放棄地発生防止活動、水路・農道の維持活動等が各集落において行われています。												
効率性	本制度の交付金は国が1/2、県が1/4を負担しており、一般財源に対する負担が大きく抑えられています。												
当面の課題	対象とする中山間地域の高齢化が進んでおり、集落によっては積極的な活動が困難になりつつあります。												
改計画	担い手の育成等が図られるよう、集落に対し積極的に働きかけていきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	1. 農業の生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動の継続や農村集落の維持を目的として、集落協定に基づき適性かつ円滑な実施を進めて下さい。												

No.	014	—	2014	事務事業名	農村環境改善センター維持管理事業				細事務事業名	農村環境改善センター維持管理事業				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	------------------	--	--	--	--------	------------------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
事業区分	施設の維持管理			事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(1)農業振興施策の総合的推進				
事業の対象	農林業の振興等の施設設置の目的に沿った活動を行う団体等						根拠法令	東温市農村環境改善センター条例及び同条例施行規則							
事業の目的	最終的	農林業の振興及び生活環境の改善、合理化並びに地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を効果的に推進します。				今年度	適切な維持管理を実施します。								
活動内容	①	電気・ガス・下水道メーター検針及び料金支払い				④	修繕業務								
	②	館内及び貯水槽清掃検査				⑤	使用予約管理								
	③	施設警備、消防設備点検、特殊建築物定期調査、植木剪定、電気保安業務委託													
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標				
			業務の性質上、指標設定になじみません。				目標								
							実績								
							目標								
							実績								
							目標								

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費		
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	357 千円		1,506 千円		492 千円							
	一般財源	10,991 千円		2,241 千円		2,406 千円							
	計(A)	11,348 千円		3,747 千円		2,898 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.223 人	1,341 千円	0.114 人	687 千円	0.104 人	620 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.116 人	223 千円	0.099 人	191 千円						
全体事業費(A+B)		12,689 千円		4,657 千円		3,709 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	当該施設は農業関連の各種団体等の活動拠点として機能しており、その安全な維持・運営のために必要不可欠です。												
有効性	施設の経年劣化に伴う施設・設備の修繕工事等を、継続的かつ計画的に行う必要があります。												
達成度	同施設内に在るJAえひめ中央東部営農支援センターと協調し、必要最小限の修繕等を行っています。 なお、今までのところ事故は発生していません。												
効率性	保守点検により補修を要する箇所を把握し、早期の改修がコスト的に有利である場合は、積極的に取り組む必要があります。												
当面の課題	老朽化による施設の破損や、耐用年数が到来した設備機器等が増加しており、施設の安全運営のために、改修が必要となっています。												
改計画	JAえひめ中央東部営農支援センターと協調し、適正な保守を行うことで施設の延命化を図ります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		1. 利用者の安全を確保するため維持管理は重要です。 2. 維持管理に見合う施設利用が図られるよう、今後とも努めて下さい。											

No.	014	—	2021	事務事業名	森林病虫害等防除事業			細事務事業名				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp			
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	全部委託		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	2 公園・緑地・水辺の整備			主要施策	(4) 特色ある親水・親緑空間の保全と創造			
事業の対象	塩ヶ森ふるさと公園を利用する方々						根拠法令						
事業の目的	最終的	塩ヶ森ふるさと公園の松林を保全し、日本古来の景観の良さを公園利用者に伝えていきます。					今年度	松くい虫による松枯れを防止します。					
活動内容	①	松くい虫防除薬剤地上散布業務(松くい虫が幼虫から成虫へと羽化する前の6月上旬までに実施します。)					④						
	②	衛生伐業務(枯死した松から松くい虫が拡散しないよう、枯松を切倒し、薬剤を散布します。)					⑤						
	③												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標	
	衛生伐で切倒した松の材積		切倒した松の材積が少ないほど事業効果が有効です。					目標	0	0	0		
								実績	20	13			
								目標					
								実績					
								目標					
実績													

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考				
	国・県支出金	270 千円		241 千円		567 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	384 千円		324 千円		625 千円						
	計(A)	654 千円		565 千円		1,192 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.072 人	433 千円	0.089 人	536 千円	0.089 人	531 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		1,087 千円		1,101 千円		1,723 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	松枯れが進んだ中で、塩ヶ森ふるさと公園の松林は貴重であり、今後も保全するためには、必要な事業であります。												
有効性	年々、枯死し切り倒す松が減少しており、事業が有効であると考えられます。												
達成度	年々、枯死し切り倒す松が減少しており、概ね達成していると考えられます。												
効率性	県の補助金を活用しており、効率的に実施しております。												
当面の課題	松くい虫による枯死は減少したとはいえ、ゼロになったわけではありません。												
改 革 計 画	今後も環境に配慮し、事業を実施していきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		1. 引き続き、景勝地としての風致機能が維持出来るよう推進して下さい。 2. 伐倒処理による風致機能の低下に配慮して下さい。											

No.	014	—	2024	事務事業名	有害鳥獣捕獲事業			細事務事業名				公的関与	4
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp			
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	2 林業の振興				主要施策	(1)計画的な森林整備の推進		
事業の対象	市内の山林及び山林に隣接し、有害鳥獣が出没する農地及び農作物					根拠法令							
事業の目的	最終的	有害鳥獣による農地及び農作物への被害を最小限に抑えることを目標とします。				今年度	有害鳥獣捕獲による個体数減少、侵入防止柵の設置等により、農作物への被害軽減を図ります。						
活動内容	①	有害鳥獣の捕獲事業				④							
	②	農地等侵入防止施設の整備事業				⑤							
	③												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
	有害鳥獣被害面積		有害鳥獣による農地への被害面積			ha	目標	2.70	2.70	2.50			
							実績	3.43	2.76				
							目標						
							実績						
							目標						
実績													

DO

予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考				
	国・県支出金	1,778 千円		5,428 千円		4,816 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	13,752 千円		11,481 千円		11,042 千円						
	計(A)	15,530 千円		16,909 千円		15,858 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.213 人	1,281 千円	0.233 人	1,403 千円	0.233 人	1,390 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.154 人	296 千円	0.154 人	297 千円					
全体事業費(A+B)		16,811 千円		18,608 千円		17,544 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	有害鳥獣による農作物等への被害は、収穫量の低下、耕作意欲の減退、耕作放棄地の増加を招くことから、対策を行う必要があります。												
有効性	有害鳥獣捕獲による個体数減少と、侵入防止施設の設置による被害抑制を合わせて行うことによる効果的な被害減少が図られています。												
達成度	有害鳥獣による被害面積はほぼ横ばいに推移しており、被害拡大が抑えられています。												
効率性	国・県が実施する各種事業を活用し、一般財源の負担軽減を図っています。												
当面の課題	有害鳥獣捕獲従事者の高齢化が進んでいるため、新規従事者の確保を進めていく必要があります。												
改 革 画	有害鳥獣捕獲に必要な狩猟免許取得について、普及・啓発を行うほか、新規狩猟免許取得者に対する支援等も検討していきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項		1. 新規従事者の確保につながる制度設計をお願いします。 2. 捕獲奨励金については、従事者の要望や他市町の事例を調査し再検討して下さい。											

No.	014	—	2103	事務事業名	薬用植物産地化支援事業			細事務事業名	補助金交付・申請受付・現地確認・実績報告事務			公的関与	6
-----	-----	---	------	-------	-------------	--	--	--------	------------------------	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp			
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	補助等		実施計画	非該当	事業期間	26年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(1)農業振興施策の総合的推進		
事業の対象	農協連合会、農協、農地所有適格法人、集落営農組織、営農集団、特認団体						根拠法令	東温市薬用植物産地化支援事業費補助金交付要綱					
事業の目的	最終的	中山間地域等の地理的条件を生かせる、薬用植物をはじめとする新たな戦略品目を導入することで、特徴ある産地化を推進します。					今年度	産地化推進のため、省力・低コスト化や高品質生産に必要な共同利用機械・施設等の整備を支援します。					
活動内容	①	農協などの事業実施主体が行う、薬用植物等の産地化を進める品目又は既存産地再編に必要な共同利用機械の整備に対し、交付金を交付します。					④						
	②						⑤						
	③												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標	
				業務の性質上、指標設定になじみません。				目標					
								実績					
								目標					
								実績					
								目標					

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考				
	国・県支出金	493 千円		786 千円		742 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	246 千円		393 千円		371 千円						
	計(A)	739 千円		1,179 千円		1,113 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.099 人	595 千円	0.099 人	596 千円	0.074 人	441 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		1,334 千円		1,775 千円		1,554 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	薬用植物等の産地化の推進には、専用の共同利用機械や施設の整備が必要であり、事業実施主体の予算状況から複数年かけて整備していく計画であるため、引き続き事業を継続する必要があります。												
有効性	薬用植物等の新たな戦略品目の推進を行うことで、遊休農地の有効利用や中山間地域の振興が図れるなど、事業を遂行する十分なメリットがあります。												
達成度	薬用植物の作付面積は平成27年度末時点で約4ヘクタールまで拡大しており、事業開始時に目標としていた平成30年の作付面積6ヘクタールを達成する見込みです。												
効率性	県の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	東温市でも、近年では少子高齢化などの理由で農業者人口が減少しているため、農地や地域を守っていくためには、当事業の更なる拡大・充実に努める必要があります。												
改計画	事業実施主体と連携しながら、薬用植物等の新たな戦略品目の生産拡大に必要な共同利用機械・施設の整備を今後も進めていきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項		1. 中山間地域等における新たな戦略作物となるよう、関係機関と協力しながら拡充に努めて下さい。											

No.	014	—	2107	事務事業名	農地中間管理事業			細事務事業名				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp			
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当	事業期間	25年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(2) 農業生産基盤の充実		
事業の対象	東温市内の農用地等を貸したい土地所有者、借りたい農家						根拠法令	農地中間管理事業の推進に関する法律					
事業の目的	最終的	農用地等を貸したいという農家(出し手)から、農用地等の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手(受け手)へ農用地利用の集積・集約化を進めます。				今年度	今年度は、農用地の集積及び集約を進めます。						
活動内容	①	農用地の貸付希望の農地中間管理機構への登録					④	農地中間管理機構を活用して、農用地の貸し借りが成立した場合の補助金交付					
	②	農用地の貸受希望者の農地中間管理機構への登録					⑤						
	③	農用地利用配分計画の策定											
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
	農地中間管理事業により、新規に借り手が決まった農地の面積		市町ごとの目標面積は設定されていません。			ha	目標						
							実績	5	1				
							目標						
							実績						
							目標						
実績													

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考				
	国・県支出金	300 千円		638 千円		600 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	200 千円		35 千円		140 千円						
	一般財源	1 千円		1 千円		0 千円						
	計(A)	501 千円		674 千円		740 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.163 人	980 千円	0.124 人	747 千円	0.094 人	561 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.010 人	19 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		1,481 千円		1,440 千円		1,301 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	C	必要性	1	有効性	2	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	農地中間管理機構が行う事業で、市町が関与しているが、既に農業経営基盤強化促進事業に基づく農用地の貸し借りが行われており、事業の活用は進んでいないと考えます。												
有効性	貸し手側への補助金の交付により、遊休農用地の掘り起しには、有効であるが、借り手側への補助金はない分、活用が進んでいません。												
達成度	県全体での目標値はありますが、市町ごとの目標はありません。しかし、成果としては、あまり上がっていないと考えます。												
効率性	国の施策により、農地中間管理機構と連携し実施しており、本市独自の判断で見直すことは、困難です。												
当面の課題	借り手の登録者数の増加が課題となっています。												
改 革 画 計	農用地の集積化・集約化の担い手となる集落営農組織や認定農業者の支援を更に推進します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項		1. 農地利用の集積化・集約化は喫緊の課題ですので、鋭意推進をお願いします。 2. 制度設計に問題があると思われる場合は、関係機関と協議をお願いします。											

No.	014	—	2108	事務事業名	新規就農者拡大促進事業			細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	-------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	24年度～28年度				
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(3)担い手の育成・確保			
事業の対象	就農後5年以内かつ就農時に満45歳未満の新規就農者						根拠法令	東温市新規就農者拡大促進事業費補助金交付要綱						
事業の目的	最終的	新規就農者の確保・育成を図り、地域農業の担い手とします。				今年度	農業協同組合等が実施する新規就農者の経営開始に必要な農業用機械や施設の導入を支援します。							
活動内容	①	新規就農者拡大促進事業費補助金交付要綱に基づき、補助金交付事務を行います。				④								
	②					⑤								
	③													
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	最終目標			
			業務の性質上、指標設定になじみません。				目標							
							実績							
							目標							
							実績							
							目標							

DO

予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業				費		
直接事業費		平成26年度決算		平成27年度決算		平成28年度予算		備考				
	国・県支出金	277千円		355千円		970千円						
	地方債	0千円		0千円		0千円						
	その他特定財源	0千円		0千円		0千円						
	一般財源	138千円		177千円		485千円						
	計(A)	415千円		532千円		1,455千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100人	601千円	0.100人	602千円	0.100人	596千円					
	臨時職員工数・経費	0.004人	8千円	0.004人	8千円	0.004人	8千円					
全体事業費(A+B)		1,024千円		1,142千円		2,059千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	新規就農者の確保・育成を進めるために必要な事業です。												
有効性	農業協同組合が主体的に事業を実施しており、新規就農者を積極的に支援する体制づくりが進んでいます。												
達成度	本事業で支援した新規就農者の定着が進んでおり、着実に地域農業の担い手となりつつあります。												
効率性	県と市が協調して事業を実施しており、円滑に事業が実施されています。												
当面の課題	本事業を含め、総合的に新規就農者を支援する体制づくりが進めば、地域農業の担い手の確保がより進むと思います。												
改訂計画	新規就農者の支援を行う農業マネージャーの導入を進めます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		1. 地域農業を担う新規就農者を支援するため、鋭意推進して下さい。 2. 支援後の事後評価について、検討をお願いします。											

No.	014	—	2109	事務事業名	認定農業者経営改善支援事業			細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	---------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課 名	農林振興課		係 名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	26 年度 ～ 29 年度				
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(3)担い手の育成・確保			
事業の対象	地域を担う各認定農業者						根拠法令	東温市認定農業者経営改善支援事業費補助金交付要綱						
事業の目的	最終的	認定農業者の規模拡大を促し、地域農業の維持・発展を図ります。				今年度	認定農業者の個別経営体としての経営改善を図ります。							
活動内容	①	認定農業者経営改善支援事業費補助金交付要綱に基づき、補助金の交付事務を行います。				④								
	②					⑤								
	③													
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
			業務の性質上、指標設定になじみません。				目標							
							実績							
							目標							
							実績							
							目標							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備 考				
	国・県支出金	1,523 千円		2,518 千円		2,286 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	0 千円		0 千円		1,142 千円						
	計(A)	1,523 千円		2,518 千円		3,428 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,503 千円	0.120 人	723 千円	0.120 人	716 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.014 人	27 千円	0.014 人	27 千円					
全体事業費(A+B)		3,026 千円		3,268 千円		4,171 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総 合 評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）												
必要性	毎年、要望件数が多く、今後も事業としての需要は高いと思われます。												
有効性	認定農業者の経営を改善し、経営規模の拡大を促すことで、認定農業者の生産性向上、農地集積・集約化、耕作放棄地増加の抑止等、多くの効果が期待されます。												
達成度	本事業により機械等を導入することで、農作業の効率化や農地の利用集積につながっています。												
効率性	事業による効果、受益と負担の関係、補助事業後の営農方法等は認定農業者が事前に作成する農業経営改善計画及び事業計画書にて明確にするよう指導しています。												
当面の課題	認定農業者の確保・育成は国や県の政策においても重要であると位置付けられており、認定農業者経営改善支援事業は県単独事業の実施に併せて行う事業です。 市としても、認定農業者が少ない地域では更なる担い手の確保・育成が急務であるため、事業を推進する必要があります。												
改 革 画 計	県と市の協調補助であることから、県に対し補助件数を増やすよう要望します。												
二次評価者	農林振興課長	総 合 評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		1. 地域農業を担う認定農業者を支援するため、鋭意推進して下さい。 2. 支援後の事後評価について、検討をお願いします。											

No.	014	—	2110	事務事業名	担い手農地利用集積支援事業			細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	---------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	27年度～29年度				
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(3)担い手の育成・確保			
事業の対象	人・農地プランに中心経営体として位置付けられた農業者						根拠法令	東温市担い手農地利用集積支援事業費補助金交付要綱						
事業の目的	最終的	中心経営体への農地利用集積を進めます。					今年度	農地の利用集積に必要な機械等の導入を支援します。						
活動内容	①	担い手農地利用集積支援事業費補助金交付要綱に基づき、補助金の交付事務を行います。					④							
	②						⑤							
	③													
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
				業務の性質上、指標設定になじみません。				目標						
								実績						
								目標						
								実績						
								目標						

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		2,632 千円		2,544 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	0 千円		1,316 千円		1,272 千円						
	計(A)	0 千円		3,948 千円		3,816 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.104 人	626 千円	0.104 人	620 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.005 人	10 千円	0.005 人	10 千円					
全体事業費(A+B)		0 千円		4,584 千円		4,446 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	地域農業の維持・発展のためには、担い手となる中心経営体への農地の集積は有効であり、本事業は必要性の高い事業です。												
有効性	農地利用集積を進める計画を立て、その計画を達成するために必要な機械の導入を進めることとしています。												
達成度	本事業により機械等を導入することで、農作業の効率化や農地の利用集積につながっています。												
効率性	県と市が協調して事業を実施しており、円滑に事業が実施されています。												
当面の課題	地域農業の維持・発展のためには農地の利用集積が有効であることから、本事業の実施は効果の高いものです。しかし、補助採択件数が限られていることから、今後補助採択件数を増やしていく必要があります。												
改訂計画	県と市の協調補助であることから、県に対し補助件数を増やすよう要望します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		1. 地域農業の担い手を支援するため、鋭意推進して下さい。 2. 支援後の事後評価について、検討をお願いします。											

No.	014	—	2114	事務事業名	水田フル活用促進事業			細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	27年度～30年度				
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(4) 農作物の計画的な生産と生産性の向上促進			
事業の対象	水田のフル活用を先導するモデル農場・農業協同組合						根拠法令	東温市水田フル活用促進事業費補助金交付要綱						
事業の目的	最終的	水田全体の生産力向上に繋げるとともに、水田農業経営の安定化を図ります。					今年度	水田をフル活用した農業のモデルとなる農場の育成を行います。						
活動内容	①	水田フル活用促進事業費補助金交付要綱に基づき、補助金の交付事務を行います。					④							
	②						⑤							
	③													
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
				業務の性質上、指標設定になじみません。				目標						
								実績						
								目標						
								実績						
								目標						

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		7,497 千円		266 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	0 千円		3,625 千円		0 千円						
	計(A)	0 千円		11,122 千円		266 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.129 人	777 千円	0.129 人	769 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.005 人	10 千円	0.005 人	10 千円					
全体事業費(A+B)		0 千円		11,908 千円		1,045 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	本市の農業は水田農業が基本となっていることから、水田の利活用を進めることは必要性が高いと考えます。												
有効性	水田の利活用を進めることで水田農業経営の安定化を繋がっていくことから有効性が高いと考えます。												
達成度	裸麦の作付けの推進等、水田の有効活用が図られています。												
効率性	県と市が協調して事業を実施しており、円滑に事業が実施されています。												
当面の課題	事業対象者が限られているため、事業の広がりを期待することができません。												
改計画	県の補助事業であることから、県に事業内容の改善を要望します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項		1. 実施済事業の事後検証をお願いします。 2. 事業制度の改善については、関係機関と協議をお願いします。											

No.	014	—	2115	事務事業名	地域農業再生協議会事務			細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	-------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	全部委託		実施計画	非該当	事業期間	23	年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(4) 農作物の計画的な生産と生産性の向上促進			
事業の対象	市内農業者（個人、法人、集落営農等）						根拠法令							
事業の目的	最終的	農業経営の安定、食糧自給率及び自給力の向上、荒廃農地の解消や農業の担い手に対する支援を通じて東温市の農業が継続的に発展していくことを目的としています。					今年度	昨年に引き続き、経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金交付事業や、農業の担い手の確保を行います。また、新たに認定農業者向けの支援として、産地パワーアップ事業による機械・施設の整備を行う計画を検討します。						
活動内容	①	経営所得安定対策に関する推進事務					④	農業経営改善計画認定に関する審査事務						
	②	水田活用の直接支払交付金に関する推進事務					⑤	産地パワーアップ事業に関する事務						
	③	耕作放棄地再生利用緊急対策に関する事務												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
			業務の性質上、指標設定になじみません。				目標							
							実績							
							目標							
							実績							
							目標							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考				
	国・県支出金	4,930 千円		5,530 千円		4,600 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	計(A)	4,930 千円		5,530 千円		4,600 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	1.072 人	6,446 千円	1.761 人	10,605 千円	1.241 人	7,401 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	1.000 人	1,923 千円	1.249 人	2,407 千円					
全体事業費(A+B)		11,376 千円		18,058 千円		14,408 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	農家の経営改善を図るために必要なサービスであり、地域の担い手を確保・育成するためにも必要な事業です。												
有効性	原則として、国や県の方針に基づき、事業内容が決定されているため、市では実施事業の有効性が判断できません。												
達成度	各事業の周知は継続的に実施しておりますが、国の方針転換等により、事業加入者は減少傾向です。												
効率性	事業事務執行には一定の農業知識を必要としますが、市職員の技能には限界があるため、県普及員や農協等との連携を強化することで、事業の効率化やサービスの質の向上が期待できます。												
当面の課題	主に交付金事業は、ここ数年で交付対象作物や営農規模要件等に多くの変更点が見られるため、農家に大きな混乱が起きないよう、こまめな情報提供を行う必要があります。												
改計画	現在行っている農家への周知を継続すると同時に、県や農協との情報交換を密に行うことで、対応力の向上を図ります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項		1. 東温市地域農業再生協議会が、東温市の地域農業に資する多岐にわたる議論ができるよう取り組んで下さい。											

No.	014	—	2117	事務事業名	多面的機能支払交付金事業				細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	--------------	--	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	26年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(2) 農業生産基盤の充実			
事業の対象	農業者を中心とした活動組織						根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律						
事業の目的	最終的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図ります。				今年度	農地や農道等の施設の維持に取り組む活動を支援します。							
活動内容	①	農村環境保全向上活動支援事業補助金交付要綱に基づき、補助金の交付事務を行います。				④								
	②	活動組織の事業計画等の認定を行います。				⑤								
	③													
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
			業務の性質上、指標設定になじみません。				目標							
							実績							
							目標							
							実績							
							目標							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費		
直接事業費		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
	国・県支出金	13,374 千円		40,758 千円		42,291 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	5 千円		169 千円		490 千円							
	一般財源	13,638 千円		13,360 千円		13,764 千円							
	計(A)	27,017 千円		54,287 千円		56,545 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.457 人	2,748 千円	0.596 人	3,589 千円	0.596 人	3,555 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.184 人	354 千円	0.184 人	355 千円						
全体事業費(A+B)		29,765 千円		58,230 千円		60,454 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	農地・農業用水等の資源や農村環境を守っていくため、活動を支援する必要があります。												
有効性	農業者等が主体となって活動が行われており、有効性の高い事業となっています。												
達成度	本制度を活用した耕作放棄地発生防止活動、水路・農道の維持活動等が各地域において行われています。												
効率性	国・県・市が協調して取り組んでおり、効率的に事業を実施することができています。												
当面の課題	活動組織を支える人材が不足しつつあります。												
改 革 計 画	手続きや取決めを見直すなど、活動組織の負担軽減策を検討します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項		1. 組織の構成員で取り組みやすい制度設計となるよう、関係機関と協議をお願いします。											